授業科目	養護実習					単位	4
履　　修	選択	関連資格	養教一種免			ナンバリング	NU34125J
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2		
担当教員	一期﨑　直美、新谷　恭明						
授業概要	今まで履修した教職科目及び専門科目等の理論及び技術を基に、教育現場における実践的な体験を通して、養護教諭の役割を理解し、職務を実践する能力を養う機会となることを意図している。また、養護教諭としての資質向上、実践的・研究的能力と態度を養うことを期待する。児童・生徒の人格形成と身体の成長・発達に貢献するとともに、教育における研究課題を発見し、自己の望ましい教師像を形成することを目指す。						
学生が達成すべき行動目標	1. 学校教育における養護教諭の役割について理解することができる。 2. 実習校の実態に応じて実習計画を立案し、実践することができる。 3. 教職に関する実践的・研究的能力や態度を身につけることができる。 4. 実習中に実践する機会のない項目についても可能な限り講話や資料で学習し、実習校における保健活動全体の概要を説明できる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	15	0	35	50	100	
知識・理解（DP1-1）					5		5	
知識・理解（DP1-2）			5		5		10	
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）			10		20		30	
思考・判断（DP2-2）								
関心・意欲（DP3-1）					5	5	10	
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）						20	20	
技能・表現（DP5-2）						15	15	
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
1. 学校教育における養護教諭の役割について説明することができる。 2. 実習校の実態に応じて実習計画を立案し、積極的に実践することができる。 3. 教職に関する実践的・研究的能力や態度を積極的に身につけることができる。 4. 実習中に実践する機会のない項目についても積極的に講話や資料で学習し、実習校における保健活動全体の概要を説明できる。	1. 学校教育における養護教諭の役割について理解することができる。 2. 実習校の実態に応じて実習計画を立案し、実践することができる。 3. 教職に関する実践的・研究的能力や態度を身につけることができる。 4. 実習中に実践する機会のない項目についても可能な限り講話や資料で学習し、実習校における保健活動全体の概要を説明できる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1. 学校教育の概要 2. 学校保健組織活動 3. 学校保健計画 4. 保健室の運営管理と養護教諭の職務計画 5. 学校環境衛生活動 6. 定期(臨時)健康診断の計画・立案・運営・事後措置 7. 救急処置と疾病予防 8. 学校安全計画・安全点検 9. 健康観察及び欠席調査と分析 10. 個別保健指導・集団の保健指導及び保健学習指導 11. 健康相談 12. 学校行事の際の保健管理 13. 感染症対策・慢性疾患をもつ子どもへの対応 14. 特別支援の必要な子どもへの対応 15. 養護教諭の職業倫理 16. 教育者の資質向上と研究方法 17. その他	実習	実習校との打合せ。 実習期間の計画立案。 事前学習。 指導案作成。 教材作成。 授業記録作成 授業参観記録記入 講話記録記入 実習記録(日々)記入。 実習終了後レポート作成。	2～4 時間
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	養護実習は、今まで履修した教職科目及び専門科目等の理論や技術を基に、実習生として、職務を実践する能力を養います。既習事項を振り返るだけでなく、救急処置など具体的な児童生徒への対応ができるよう準備を整えてください。また、実習期間中の学校保健行事（健康診断）の実施に協力できるように事前学習を十分に行います。保健だよりや掲示物等の作成についても、実習に行く前に準備してください。保健教育を実施する人は、講義だけでなく、講義以外の時間を利用して積極的に準備し、担当者に相談してください。
テキスト	今までに履修した教職科目及び専門科目等の講義で使用した教科書及び教材等。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて実習校から配布される資料。その他、授業時に配布した資料等。 日本学校保健会ホームページ　http://www.hokenkai.or.jp/ 学校保健ポータルサイト　http://www.gakkohoken.jp/
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教職課程の実習としては、最初で最後の実習になります。教員としての児童生徒へ積極的に関わっていきましょう。学校では、教職員と連携した行動がとれるように心がけます。また、教職課程の既習事項を復習するだけでなく、新聞やニュースで最新の教育時事についても理解し実習に臨んでください。
達成度評価に関するコメント	実習校の評価を参考にします。また、実習中の記録物や実習後のレポートについて評価します。記録およびレポートは、実践したことだけでなく、各人の目標にそった自己の課題やその課題解決に向けた具体的行動を記入しているかどうかで評価します。実習中の記録物や資料等の整理状況や提出期日についても評価します。